さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

情報端末使い 心の健康観察

県教委 不登校、いじめ 早期支援へ

不登校やいじめが全国的に増加する中、県教委は公立小中高校に、1人1台端末を活用して児童生徒の心身の状態を把握する仕組みを導入する方針を決めた。国の支援事業を活用して市町村教委や学校向けの研修会を開くほか、アドバイザーを派遣して仕組みを取り入れるよう促す。

県教委によると、子どもたちが各自が利用する情報端末を使って心の状態を伝える仕組みを想定している。学校側が児童生徒の心や体調の変化を把握し、不調があった場合の早期発見、早期支援につなげる「心の健康観察」を積極的に進める。

県内では同様の取り組みが一部の学校では行われているが、県教委は全県での導入を推進する考え。子どもの小さなSOSを見逃さず問題が表面化する前に支援する体制を整える。

研修会では、取り組みの狙いや情報端末の活用方法などを説明するほか、アドバイザーを市町村教委や学校に派遣する。

2月定例県議会に提出する一般会計補正予算案に関連費用を計上した。県教委の担当者は「児童生徒の心身の状況変化を早期に把握し、積極的な支援につなげたい」と話している。

文部科学省の調査では、2022年度に山梨県内の公立小中高校で30日以上欠席した不登校者数は、前年度より373人多い2054人で過去最多。公立小中高校と特別支援学校で認知したいじめの件数も、前年度から953件増え8103件で最多を更新した。

〈小池直輝〉

（2024 年 2 月 15 日付 山梨日日新聞 19 面）

問1

県教委は公立小中高校を対象に、何を活用して児童生徒の心身の状態を把握する仕組みを導入しますか。

……

問2

取り組みでは、学校側が児童生徒の何を把握し、何につなげ、何を積極的に進めますか。

・何 を 把 握：……　　・何につなげ：……

・何を進める：……

問3

あなたは、不登校やいじめをなくすためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

……

……

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.